

日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会 取りまとめ

令和6年1月

日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

はじめに

旧日本銀行金沢支店は、明治42(1909)年に香林坊に開設され、昭和29(1954)年に現在の建物が建設された。

当時、金沢支店の開設に際しては、地元経済界を中心に日本銀行の北陸支店の設置を国などに対し要請し、実現したものであり、これにより当該地周辺に銀行や保険会社などが軒を並べ、次第に繁華街が形成され、大正に入り周辺の片町が主要商店街へと発展した。戦後は、県外の大手の商社や会社の支店などの進出により高層ビルが林立し、金沢の一大オフィス街を形成するなど、旧日本銀行金沢支店は、金沢の発展に大きな役割を果たしてきた。

他方、北陸新幹線の金沢開業に伴う宿泊施設の開発など、当該地周辺は、時代の変化とともに、金融やオフィス機能を中心としたエリアから多様な機能が集積するエリアへと移り変わってきていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により人々の働き方や消費行動などが変容してきており、当該地周辺を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした中、日本銀行金沢支店が、施設や設備の老朽化等に伴い、令和5(2023)年度中に広岡3丁目地内へ新築移転することとなったことから、跡地の早期利活用に向けて、令和5(2023)年4月に有識者や経済界の代表、地元関係者、若い世代、県などで構成する、日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会を設置し、県都の中心に位置する立地の重要性等を踏まえ、移転後の跡地に求められる機能等について検討を行った。

1. 日本銀行金沢支店跡地について
2. 日本銀行金沢支店跡地のあり方について
 - (1) 立地特性
 - (2) 跡地に求められる機能について
3. 今後について
4. 検討懇話会開催実績・委員名簿

1. 日本銀行金沢支店跡地について

1. 日本銀行金沢支店跡地について

経緯

明治42(1909)年 3月：金沢出張所を香林坊に開設 -----

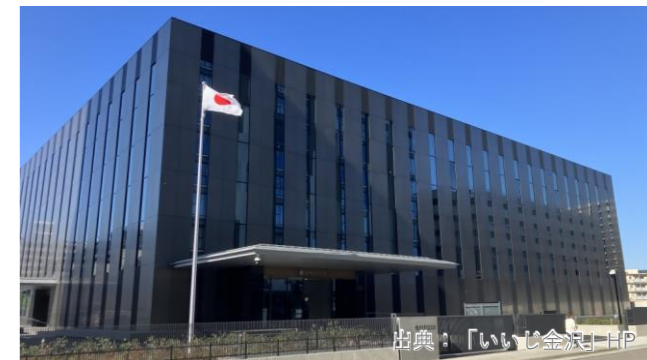


明治44(1911)年 8月：金沢出張所を支店に改称

昭和29(1954)年 8月：金沢支店二代目店舗の改築竣工 ----



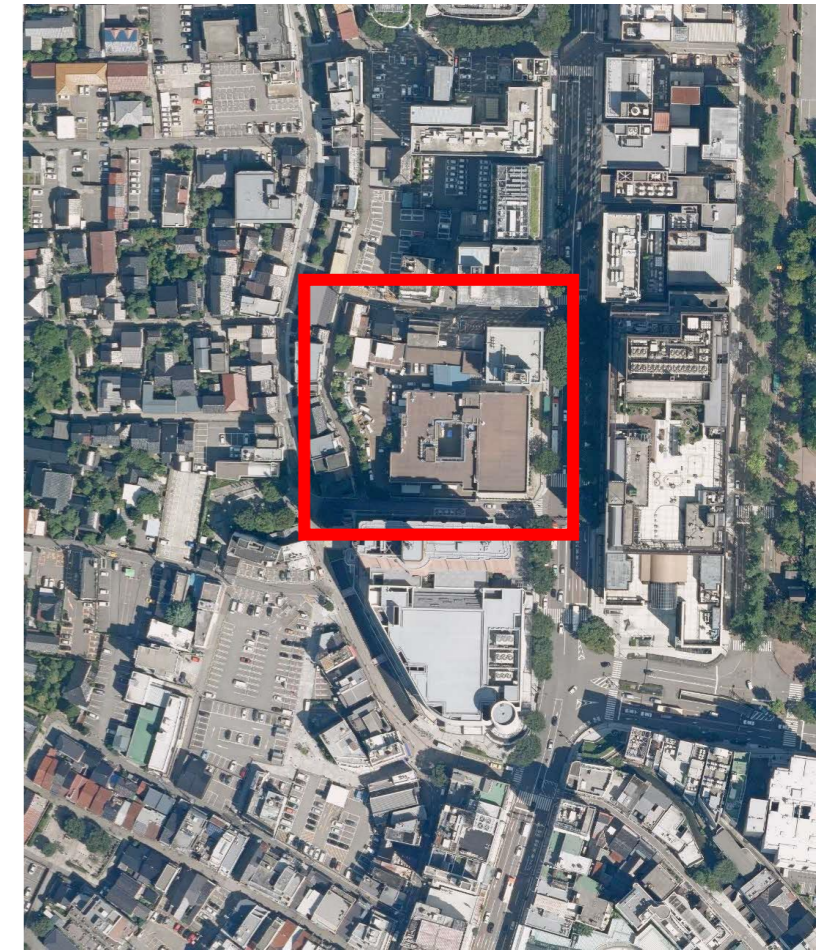
令和5(2023)年 11月：広岡に店舗を新築移転 -----



1. 日本銀行金沢支店跡地について

土地・建物の概要

- 所在地 : 金沢市香林坊2-3-28
- 駅からの距離 : JR金沢駅から2.0km (徒歩26分)
- 竣工 : 昭和29年 (1954年)
- 設計 : (株)山下設計
- 都市計画関連 : 商業地域、建ぺい率:80%、容積率:600%、高度地区45m
- 構造 : 鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下1階付地上3階建、陸屋根
- 面積 : 約4,800㎡(延床面積)、約4,700㎡(敷地面積)

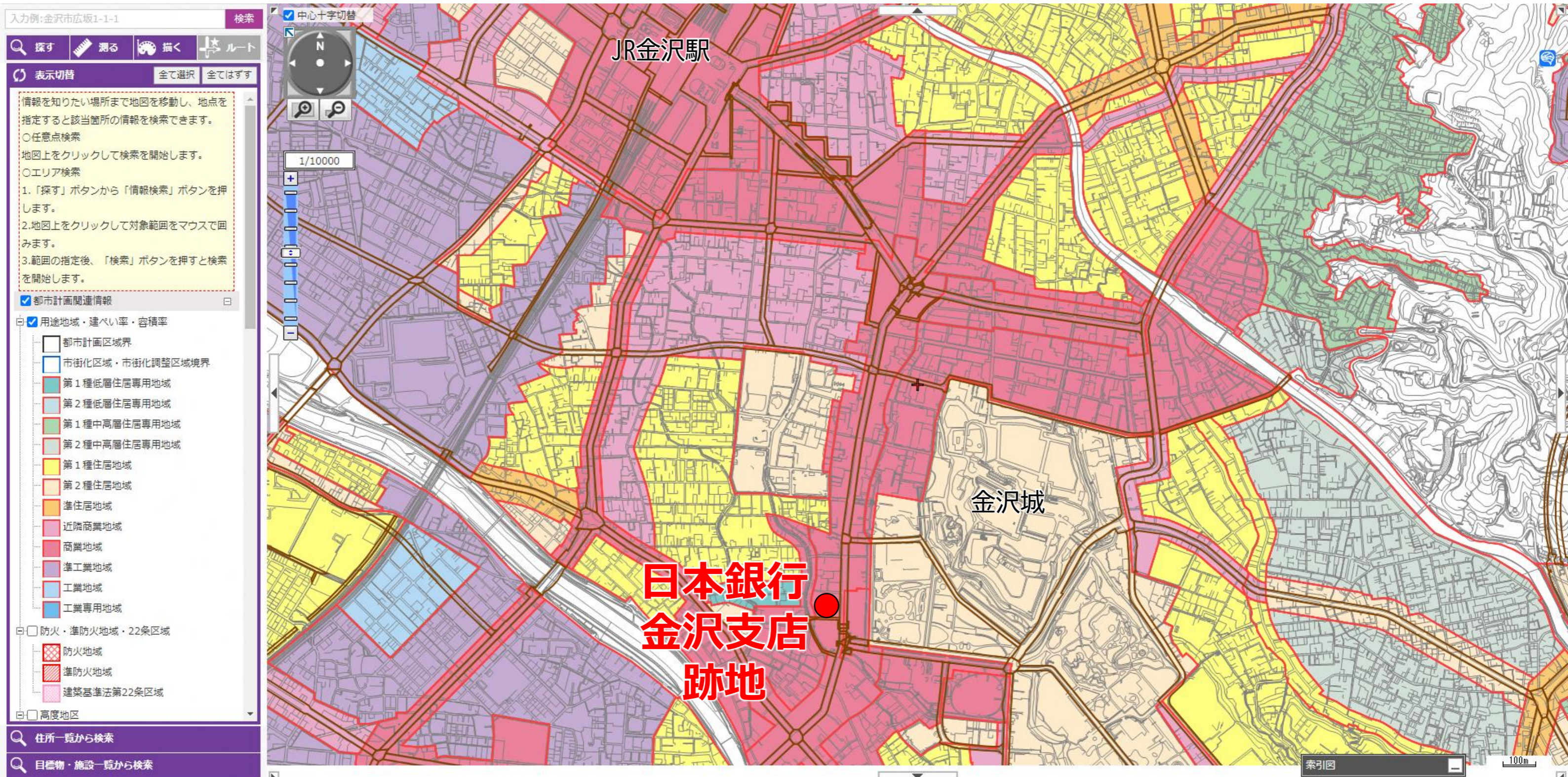


1. 日本銀行金沢支店跡地について

立地

金沢市の中心市街地に位置し、用途地域は商業地域である。

■周辺の土地利用図



2.日本銀行金沢支店跡地のあり方について

2.日本銀行金沢支店跡地のあり方について

(1) 立地特性

日本銀行金沢支店跡地は、金沢駅～武蔵が辻～南町～香林坊～片町に至る都心軸の中で、商店街とビジネス街をつなぐ場所に立地している。

県都の中心であり、都心の風格を感じることができるエリア

交通の要衝であり、多くの人々が行き交う場所

多くの芸術文化施設や歴史文化遺産が集積しており、本市の発展に極めて重要な場所

都心軸：駅東地区図



(2) 跡地に求められる機能について

「県都の中心であり、都心の風格を感じることができるエリア」を踏まえ求められる機能

- ① 来街の動機となり、まち全体へ波及する新たな魅力やにぎわいを創出し、都市の品格・風格を感じることができる機能

魅力・品格

当該地周辺は、明治中頃から繁華街となり、金融・ビジネス街、映画街等として発展し、近年は、ホテル等も多数立地し、多機能化してきた歴史ある県都の中心エリアである。

これらを踏まえ、跡地においては、来街の動機となり、まち全体へ波及する新たな魅力やにぎわいを創出し、都市の品格・風格を感じることができる機能が求められる。

① 来街の動機となり、まち全体へ波及する新たな魅力やにぎわいを創出し 都市の品格・風格を感じることができる機能

魅力・品格

・都心軸の中心にふさわしい、品格・風格を感じられる意匠

- 例) ●金沢のランドマークとなるような外観づくり
●現建物の外観の活用



金沢駅鼓門・もてなしドーム



横浜アイランドタワー(横浜市)

・これまでの閉鎖的な空間イメージと異なる、まちに開かれた空間

- 例) ●開放的で立ち寄りたくなる広場的な空間づくり
●塀や壁がなく、敷地外から内部が見える空間構成や
素材づくり



金沢21世紀美術館



八戸まちなか広場マチニワ(八戸市)

・まち全体への波及効果やエリアの価値向上につながるような 人が集まる強力な機能

- 例) ●飲食店が集積する周辺の食の魅力の取り込み
●集客効果の高いイベントが実施可能な空間の導入
●周辺の文化施設との連携



食のイベント(しいのき緑地)



グローバルリングシアター(東京都)

(2) 跡地に求められる機能について

「交通の要衝」であることを踏まえ求められる機能

- ② まち全体への新たな人の流れを生み出す環境を創出し、
人々の回遊性を向上させる機能

回遊・交流

当該地周辺は、江戸時代に総門が設けられ、北國街道(現・国道157号)が通る古くからの交通の要衝であり、現在も、様々なバス路線が都心軸と周辺地域・郊外を結んでいる。

また、背後には、長町武家屋敷跡や鞍月用水などの歴史遺産が集積し、旅行者なども多く訪れている。

これらを踏まえ、跡地においては、まち全体への新たな人の流れを生み出す環境を創出し、人々の回遊性を向上させる機能が求められる。

② まち全体への新たな人の流れを生み出す環境を創出し、 人々の回遊性を向上させる機能

回遊・交流

- ・ 多方向から出入りができ、
周辺とのつながりが生み出される環境

例) ● 塀を無くし、多方向からアクセスできる空間構成



回遊性の高いオープンスペース
(東京都、南池袋公園)



多方向からアクセスできる空間構成
(八戸市、八戸まちなか広場マチニフ)

- ・ バスやシェアサイクルなどの多様な交通手段の
情報を知り、実際に接続できる環境

例) ● バス運行等の情報が集約・一元化された案内の導入
● 各種交通手段が接続し、相互利用しやすい環境整備



情報が集約されたバス待ち空間
(盛岡市、盛岡バスセンター)

- ・ 歩行者や自転車が立ち寄りやすく、出発しやすい環境

例) ● 駐輪スペースの導入
● 敷地内の開かれた動線の整備



バス等と接続しやすい駐輪スペース
(公共シェアサイクルまちのり)



サン・ジャン駅前の開かれた空間
(フランス・ボルドー)

(2) 跡地に求められる機能について

「多くの人が行き交う場所」であることを踏まえ求められる機能

③ 多様な人々の多様な使い方が共存する空間を形成し、
自然に人が集まり快適に滞在できる機能

多様・滞留

当該地周辺は、ビジネス街や商店街、文化施設、住居地区が集積し、住む人、働く人、訪れる人など様々な人々が行き交うエリアとなっている。

これらを踏まえ、跡地においては、多様な人々の多様な使い方が共存する空間を形成し、自然に人が集まり快適に滞在できる機能が求められる。

③ 多様な人々の多様な使い方が共存する空間を形成し、自然に人が集まり快適に滞在できる機能

多様・滞留

・ 自然に人が集える自由度の高い広場のような空間

- 例) ●一定の広さを有する広場空間の確保
●可動式のベンチやテーブル等の設備の導入



吹き抜けの空間
(東京都、KITTE丸の内)



可動式のベンチやテーブル等
(東京都、コレド室町テラス)

・ 待ち合わせやバス待ちの合間に、心地よいブレイクタイムを過ごせるサービス等

- 例) ●バス停付近への休憩スペースの導入
●キッチンカー等が出店できるスペースの導入



バス待ち環境の社会実験(広島市)



キッチンカーの出店(金沢駅西広場)

・ 雪や雨など、天候を気にせず利用できる、全天候型の空間

- 例) ●ガラス製の天井や扉等、開放感が感じられる構造
●安全・安心な避難できる場



祝祭の広場(大分市)



八戸まちなか広場マチニワ(八戸市)

・ 都心の中にあって、陽や緑といった自然を感じながら過ごせる空間

- 例) ●芝生や中低木が植栽された空間の創出



丸の内仲通り(東京都)



東遊園地(神戸市)

(2) 跡地に求められる機能について

「多くの芸術文化施設や歴史文化遺産が集積」していることを踏まえ求められる機能

④ 市民の文化活動の象徴となる場を創出し、市民・観光客が文化に触れて楽しむことができる機能

文化・活動

当該地周辺は、長町武家屋敷跡が隣接するほか、金沢城・兼六園等が立地し、文化を親しむ多くの市民・観光客が訪れるエリアとなっている。

これらを踏まえ、市民の文化活動の象徴となる場を創出し、市民・観光客が文化に触れて楽しむことができる機能が求められる。

④ 市民の文化活動の象徴となる場を創出し、市民・観光客が文化に触れて楽しむことができる機能

文化・活動

- 市民が気軽に文化活動の練習や発表に使用できる場

例) ●演劇や音楽活動が可能となるスペース・設備の導入



文化活動の発表の場
(金沢市民芸術村)
出典: 「いしかわ百万石文化祭2023」HP

- 市民の文化活動が可視化され、文化を身近に感じ、楽しむことができる場

例) ●各種文化活動に市民が参加しやすい環境づくり



文化を身近に感じることができる
オープンスペース
(金沢市民芸術村)
©北陸

- 質の高い芸術を鑑賞する場

例) ●質の高い芸術を発信できるスペースの導入
●名の通った文化・芸術団体の拠点となるような場



出典: UR都市機構
グローバルリングシアター (東京都)



出典: 「事業情報」HP
利賀芸術公園野外劇場 (南砺市)

- 市内外のアーティストも集まり創作活動や発表ができる場

例) ●創作活動や販売もできる工房の導入
●金沢の工芸や食文化を発信できるような場



出典: 「八戸ポータルミュージアム」HP
地元作家等の工房兼ショップ
(八戸市、八戸ポータルミュージアムはっち)



出典: 「八戸ポータルミュージアム」HP
伝統工芸体験ブース

3. 今後について

3. 今後について

- 日本銀行金沢支店跡地に求められる機能を踏まえると、**金沢市が跡地を取得し、早期の利活用を検討する必要がある。**
- 求められる機能を実現する上で、**機能の複合化や整備範囲、官民連携手法について検討する必要がある。**
- 日本銀行と跡地の取得に向けた情報交換を密にしながら、**利活用に向けたスケジュールを速やかに示す必要がある。**
- 跡地の早期利活用と市民意識の醸成の観点から、本格整備に着手するまでの間、**現建物の暫定利用も視野に入れた整備手法について検討する必要がある。**
- 都心軸エリアにおいて進められている、**都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域の指定に向けた取り組みと連携・調整を図る必要がある。**

4. 検討懇話会開催実績・委員名簿

- 令和5(2023)年6月 : 第1回日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会
- 7月～8月 : 市民アンケート及び現地見学会
- 10月 : 第2回日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会
- 令和6(2024)年1月 : 第3回日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

●委員

雨坪 毅樹 金沢中心商店街まちづくり協議会会長

伊藤 香織 東京理科大学創域理工学部教授

久保田 保 長町地区町会連合会会長

砂塚 隆広 一般社団法人金沢経済同友会代表幹事

徳田 博 石川県副知事

野澤 千絵 明治大学政治経済学部教授

馬場先 恵子 金沢学院大学名誉教授

(座長) 水野 一郎 谷口吉郎・吉生記念金沢建築館館長

宮下 智裕 金沢工業大学建築学部教授

米澤 寛 金沢商工会議所副会頭

渡邊 裕大 未来へつなぐ金沢行動会議都市づくり部会長

●オブザーバー

独立行政法人都市再生機構